

# 雲北陵月報

No. 488

令和8年4月30日  
出雲北陵中学高等学校  
土江明文社 印刷

## 第31回中学校 第118回高等学校 入学式挙行

### 出雲北陵中学・高等学校入学式



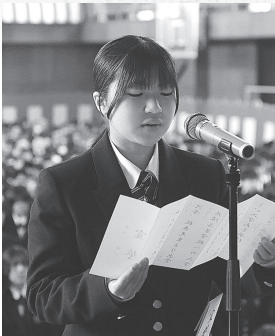
学校長式辞

やわらかな陽光が降り注ぎ、桜舞う4月9日、令和8年度出雲北陵中学・高等学校入学式が挙行された。本年度は中学校37名、高等学校21名、合わせて248名の新生を迎えた。

式では、初めに松本克己校長より、入学が許可された。式辞の中で、  
は、ダーウィンやシェイクスピアの言葉を引用され、初心(今の気持ち)を大切に、将来を見据えながら高校生活を送って欲しいと言葉を贈られた。続いて新生を代表し、中学校から宮廻瑠成(穂原小)、高等学校から山下悠月(河南中)がそれぞれ入学の決意を力強く宣誓した。  
当日は高等学校PTA会長の永田数字様より祝辞をいただくと共に、多くの来賓の方々にご臨席を賜った。また多方面から祝電・祝詞をいただくなど、新生の門出を祝福していただいた。



中学校新生代表  
宮廻 瑠成



高等学校新生代表  
山下 悠月

### 入学を祝して



高校教頭  
黒崎 勉

中学校37名、高校21名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を心より歓迎致します。中学校は特に英語教育に力を入れており、3年時にはオーストラリア語学研修が行われるなど、国際教育に力を入れています。また高校は、近年目覚ましい進学実績をあげるとともに、スポーツや音楽・美術の芸術が盛んな学校として大きな成果を残しています。さて、新入生の皆さんに期待することは次の二点です。一点目は建学の精神を大切にしてもらいたいことです。本校の校訓は「柔しく剛く」です。「柔しく」とは人の立場に立った柔い思いやりの心のことです。「剛く」とは自分を律する強い心、という意味です。どうかこれから始まる学校生活において、他人を思いやり、そして自分を律する、という本校の教育理念を意識して過ごしていただけたらと思います。二点目は「夢」や「目標」を持つて欲しいということです。大きな目標でも小さな目標でも構いません。小学校、中学校時代を思い出し、やり切れなかったことや、続けてきた思いを継続して欲しいと思います。なぜなら人は「夢」や「目標」を持つことで頑張れるからです。  
どうか皆さん、健康に留意しながら中学校生活、高校生活を謳歌してください。私達教職員は「夢」や「目標」に向かって頑張る皆さんの青春の一助になれるよう全力で応援していく覚悟です。

### なぎなた部

#### 全国大会準優勝!

第21回全国高等学校なぎなた選抜大会

3月21・22日  
於 伊丹スポーツセンター

〈団体の部〉 準優勝  
出雲北陵 112 佐賀東

〈女子個人の部〉

安田結衣 (33位) 5位入賞

曾田小夏 (34位) ベスト16

齋藤桜生 (23位) 2回戦敗退

〈男子個人の部〉  
岡田一之介 (34位) 3回戦敗退

○大会総評

今大会は団体が準優勝、個人で安田がインターハイに続き5位入賞と大健闘した。技術的に他チームより劣る部分が大きかったが、今大会に向け、団体が勝つために、あらゆるパターンで団体戦を練習してきたことが生かされた結果であった。

チームワークでつないだ試合は、多くの方から見ごたえのある試合であったとお言葉をいただいた。これも普段から選手を見守っていただいている保護者の方々、諸先生方のお陰であり感謝申し上げます。

勝ったチームとしてこの先が大変だと思っっている。結果に驕ることなく、初心に戻り、更なる努力を重ね、新年度も頑張りたい。応援有難うございました。

(顧問 井上美代)



出雲北陵高校



皆さんの活躍の場を広げていきます。皆さんの若い力を地域に生かしてみませんか。少し特別な高校生活に、ぜひ一緒に挑戦していきましょう。



**荒尾 駿太**  
(教科：地歴公民)

今年度から社会科の常勤講師として着任しました荒尾駿太です。今年で教員としては四年目になります。兵庫県出身で、高校卒業後、島根大学に入学したことをきっかけに島根県にやってきました。高校生の三年間は、人とかかわる中で苦労することや悩みが増えていく時期かと思えますが、人として大きく成長できる時間でもあると思います。そうした時期に、教員として生徒に寄り添い、前向きな選択ができるよう支えていきたいと思っています。微力ではありますが、皆さんと共に成長していければと思います。よろしくお願ひします。



**小村 弘人**  
(教科：理科)

今年度から、高校理科の常勤講師として着任致しました小村弘人です。昨年度まで教育関係以外の仕事をしておりました。現在は社会人二年目、そして教師一年目として毎日一つでも多くのことを吸収できるように努めています。

私が高校生の頃に学んだことや築いた人間関係は、私が教師を目指すうえで大きな支えになりました。そのため、北陵高校の生徒の皆さんにも、あとの人生で長く生き生きするような財産を獲得して欲しいと思っています。私が積み上げた経験は拙いものではありますが、それらを今の高校生に還元できるように、妥協することなく全力で取り組んでまいります。

教師として知らないことがまだまだ数多くありますが、ほかの先生方から一つずつ学びとっていかれたらと思っています。よろしくお願ひ致します。



**福富 輝典**  
(教科：国語)

四月より国語の非常勤講師として勤務することになりました。福富輝典です。昭和

三十四年生まれなので、高校生とは五十歳離れています。頑張ろうと思っっています。よろしくお願ひします。

近年、AIや、チャットGPTなど便利なツールが身近になり、速く簡単に必要な情報や技術を得ることができるようになりました。小論文などの提出もネット上で済ませることもできます。これはこれで、お互いに便利なことであり、否定するものではありません。

一方、国語という教科においては、自分の言葉で「書くこと」「話すこと」も、大切なことだと思います。自分の「言葉」でやり取りをする中で、考える力・伝える力、他者を理解する力・他者に理解してもらう力が育っていくと思っます。高校生の新鮮で柔軟な思考力から発せられる「言葉」とのやり取りを楽しみに行っます。

**男子ソフトテニス部**

第60回全日本私立高等学校選抜ソフトテニス大会  
於時 3月17日(土)19日(日)  
於地 横浜国際プール

【団体戦】 1回戦  
本校 0-1③ 宇都宮短大付属(栃木)  
【個人戦】 予選リーグ  
高木映瑠・木村一心ペア 1勝1敗  
【団体メンバ】(三島駿太(32歳)、仲津想大(33歳)、川原 真(34歳)、高木映瑠(34歳)、山下柊人(35歳)、木村一心(21歳))

○大会総評  
全国の上位校が集まる大会で、課題を多く見つけることができた。この経験を夏に生かせるよう精進していきたい。保護者の方には遠方まで応援に来ていただき有難うございました。(顧問 佐々木雄志)

**卓球部**

第53回全国高等学校選抜卓球大会  
於時 3月22日(土)25日(日)  
於地 リージョンプラザ上越

【男子団体】 予選リーグ  
本校 3-0 埼玉栄(埼玉)  
本校 1-3 希望が丘(福岡)  
○大会総評  
今回の敗戦を通して浮き彫りとなった技術面・戦術面・精神面それぞれの課題に真摯に向き合い、今後の練習において一つひとつ着実に克服していきたい。また、この経験をチーム全体の成長の糧とし、今後の大会ではより良い結果に繋げられるよう努めていきたい。遠方より応援に駆けつけて

くださった保護者の皆様方には、心より御礼申しあげます。

【男子団体】 ベスト8  
本校 5-0 高積中(和歌山)  
本校 3-2 東華中(宮城)

予選リーグから厳しい試合の連続であったが、選手は粘り強く戦い、準々決勝まで勝ち進むことができた。今回の大会を通して明らかになった課題を真摯に受け止め、今後の練習で克服していきたい。遠方より応援に駆けつけてくださった保護者の皆様方には、心より御礼申しあげます。(顧問 古瀬泰之)

**特別進学コース 春季進学勉強特訓**

4月3日と6日の2日間、本校において特進コースを対象とした春季進学勉強特訓を実施した。特進コースの高校生は2・3年生が参加し、1年生は午前中まで学習に励んだ。1・2年生は国語・数学・英語の授業に加え、現在の学力を確認するためのスタディーサポート(模試)を実施し、今後の学習への課題を明確にした。3年生は新しく入学した1年生を歓迎するオリエンテーションを行い、本校での学習や学校生活について丁寧に説明した。その後は国語・数学・英語の授業を通して、進学に向けた意識を一層高める有意義な時間となった。

**第24回進級展開催**

於時 3月21・22日  
於地 出雲文化伝承館 縁結び交流館

年度の最後に進級を記念し、美術・CGデザインコースと美術部による美術展を開催している。絵画、デザイン、映像、立体等、生徒の個性あふれる作品を展示し、会期中は多数の来場を賜り、盛況のうちに終えることができた。この場を借りてお礼申しあげます。

**令和8年度 学級担任**

	主任	担任等	
中	西村	正担	多々納
1-1		副担	西村
中		正担	相場
1-2		副担	西村
中		正担	和田
2-1		副担	藤江
中	正担	中川	
2-2	副担	藤江	
中	正担	村上	
3	副担	別所	

高	主任	担任	学 級					
			1 普通 (簿記)	2 普通 (簿記・英演)	3 普通 (英演)	4 普通 (英演)	5 特進	6 芸術 (音・美)
1	松井	正担	永瀬	畑宗	井上	荒尾	水谷円	勝部
		副担	松井	尾添	佐々木	松井	尾添	布野
高	主任	担任	学 級					
			1 普通 (情・保・教)	2 普通 (教養)	3 普通 (進学)	4 特進	5 芸術 (音・美)	
2	伊藤	正担	金森	河野	小村弘	柳樂	竹内	
		副担	田邊	泉	古瀬	伊藤	石倉	
高	主任	担任	学 級					
			1 普通 (情・春・保)	2 普通 (教養)	3 普通 (教養)	4 普通 (進学)	5 特進	6 芸術 (音・美)
3	篠原	正担	篠原	酒井	福間	妹尾	遠藤	高橋
		副担	椿	椿	春日	中澤	中澤	原田

作品と研究

「出雲北陵高校に入学して」

萬代明友香(11歳)

高校生活で一番頑張りたいことは、部活です。北陵高校を選んだ一番の理由は、吹奏楽部に入り、全国大会を目指したいと思ったからです。練習は厳しいけど、先輩方が優しく教えてくれるので上手になれるように一生懸命練習したいです。先生や先輩に言われたことをすぐ行動に移せるようにしたいです。部活にたくさんの方がいるので、同級生の友達を作ったり、二・三年生さんともたくさん話ができるように、コミュニケーションをとりたいと思います。勉強も良い点数がとれるように頑張りたいです。文武両道できるようにしたいです。

尾添さくら(12歳)

私が高校生活で頑張りたいことは、日頃から何事にもチャレンジしていきたいと考えています。

理由は、中学校生活で勇気が出ず、何回か後悔した経験があるからです。具体的には、学級委員を選出する際に、立候補しようか迷って、結局立候補しなかったことです。あの時の後悔は大きいと共に、それ以上に自分を成長させる大事な一歩を逃してしまつたと深く反省しています。また、高校の新入生オリエンテーション

ンでの「勇気は一瞬、後悔は一生」という黒崎教頭先生の言葉が強く印象に残りました。まさに今までの自分に響く言葉です。高校生活は、義務教育ではないので自分自身でしっかりとしていきたいと思っています。今までの自分を高校で少しでも成長させ、変えていきたいです！

村尾 竹音(13歳)

私は部活と勉強が両立できるように頑張りたいです。高校卒業後、専門学校にいききたいので実現できるように勉強を頑張ります。部活では、本校に貢献できる選手になりたいです。そして、友達作りを頑張りたいです。自分から積極的に話しかけていきたいです。また、クラスで活動する時など、自分から率先して行動し、みんな楽しく活動していきたいです。これから大変なことがたくさん起こると思いますが、自分が選んだ道を全力で進んで、最後達成感を得られるように頑張っていきたいです。みんなで協力し合い、最高の学校生活を送れるように頑張ります。

森脇 唯(14歳)

私の高校生活での目標は、自分の長所を生かして周りの人に尊敬されるような輝く存在になることです。私の長所は、責任感があり、どんなことにも一生懸命、全力で取り組める所だと思っています。高校生活では、色々な事に挑戦し、長所を生かして、頑張りたいと思っています。周りの人に尊敬してもらうには普段か

らの生活態度が良くないといけないと思います。明るくあいさつを心がけたり、学校のルールを守ることや、テストを全力でやったり、提出物を期限までに必ず出したりすることでみんなのお手本のような存在になり、尊敬してもらえらると思います。これらの事を意識して、自分の長所を生かして周りの人に尊敬されるような輝く存在になりたいです。

山下 悠月(15歳)

私は高校で、自分の苦手な単元などを把握し、自分にあった方法を見つけて勉強することを頑張りたいです。

中学生のころは、自分の苦手なところをあまり考えず、既にできる単元もやって効率の悪い勉強をしていました。また、自分にあう勉強方法を見つけれずに悩んでいました。高校では、部活動が忙しく、体が慣れないため、疲れを感じるが増えました。活動時間も長いので、今までみたいに勉強時間を長く確保することは難しいです。ですが、今までより、効率よく勉強ができれば少し心に余裕ができると思います。「量より質」という言葉をよく耳にしますが、そのとおりだと最近思うようになりました。

だから私は、自分にあつた勉強方法を見つけ、苦手な単元を集中して勉強し、効率よく勉強できるようにしたいです。また、効率よく勉強し、勉強の質をあげていきたいです。

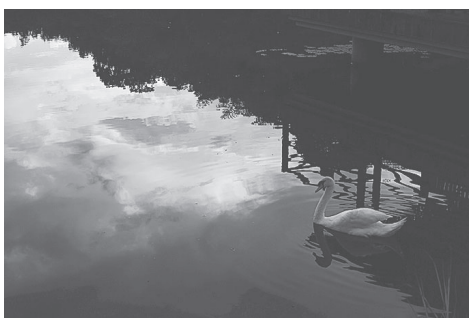
首藤 百華(16歳)

私は、勉強と部活動の両立をし、専攻楽器であるフルートの技術を高めたいと思っています。

今までより学習や部活動の時間が増えたり専門的な学習内容になったりするのでどちらも諦めず最後まで頑張りたいと思ったからです。また、フルートを演奏することはできませんが、まだ苦手でできないことがたくさんあります。特に連符が苦手で、インターネットなどで調べながら日々頑張っています。講師の方や先輩から知識を得て、得意だと言えようになるために更に努力していきたいからです。先輩方のような音や演奏ができるようこれからも頑張りたいです。

また、中学校のときよりクラスの人などが増えるので仲良くなれるよう頑張りたいし、楽しく過ごしていきたいです。

持田 一真(17歳)



エプソンフォトグランプリ2025ネイチャー部門学生賞

今月の「まぼろし」  
1枚